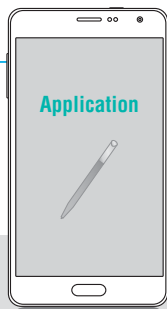


# タッチペンで便利機能を呼び出す

SC-01Gには付属のタッチペンでのみできる操作があります。ここで紹介するエアコマンドもそのひとつで、ロック画面以外のどんなときでも表示でき、4種類の便利なツールを起動することができます。



## エアコマンドを表示する

**1** タッチペンをSC-01Gの画面に近づけ、Sペンのボタンを押します。



**2** エアコマンドが表示されます。エアコマンドの各アプリ (P.131、Sec.42～43、45参照) をタップすると、該当するアプリが起動します。



**3** エアコマンドは、エアコマンド以外の部分をタップする、タッチペンのボタンを押す、タッチペンを本体に装着する、のいずれかで消去することができます。

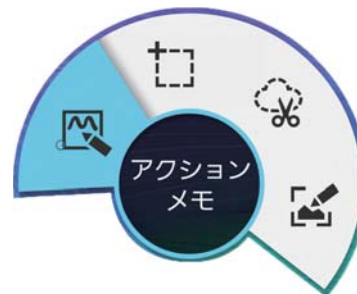


### MEMO タッチペンを抜いてエアコマンドを起動する

標準ではタッチペンを本体から引き抜くと、エアコマンドが表示されるように設定されています。PINコードなどの画面ロックを設定していなければ、スリープ状態からでもロック画面を経ずにすぐにエアコマンドが利用できます。

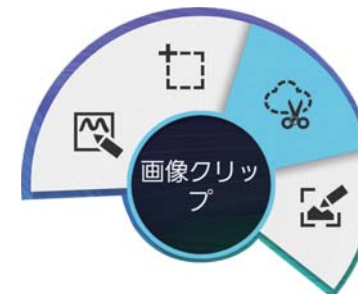
## エアコマンドから利用できるアプリ

### アクションメモ



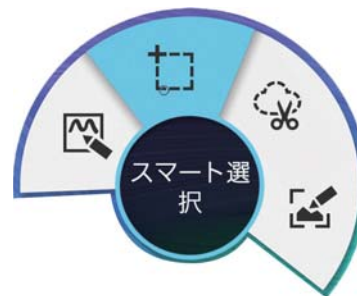
手書きで入力するメモ帳です。電話中などアプリ使用中でも利用することができ、メモに書いた電話番号から電話をかけたり、書いた単語をWebで検索することができます。書いたメモは<Sノート>に保存されます。利用方法はSec.42で紹介しています。

### 画像クリップ



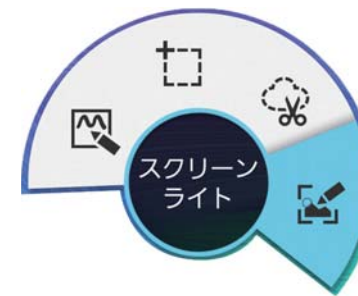
画面の一部を自由にトリミングして保存することができます。画面のアイコンや、写真の人が写っている部分のみを切り抜いて保存するのに便利です。クリップした画像は<スクラップブック>や[クリップボード]に保存されます。利用方法はSec.43で紹介しています。

### スマート選択



タッチペンで選択したコンテンツを収集することができます。表示画面の一部やビデオを収集することができます。また、画面の文字部分をテキスト化する機能もあります。収集したコンテンツは<スクラップブック>に保存されます。利用方法はSec.43で紹介しています。

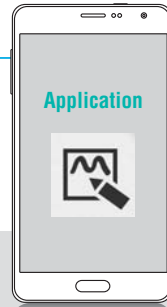
### スクリーンライト



画面全体を保存するとともに、画面に手書きメモを書くことができます。表示した画面を保存してすぐにメモを書きこむことができるのが特徴です。利用方法はSec.45で紹介しています。

# アクションメモを利用する

<アクションメモ>はいつでもメモが書き込めるメモ帳で、メモに書いた内容から電話をかけたたり、Web検索をしたり、地図を表示したりすることができます。



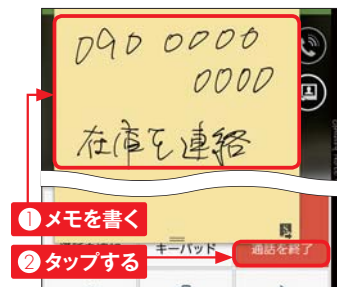
5

## メモから電話をかける

① ここでは電話中にアクションメモを利用します。P.130手順①の方法でエアコマンドを表示し、<アクションメモ>をタップします。

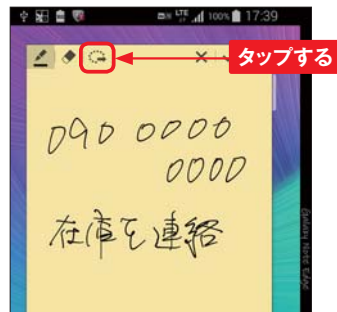


② 説明が表示されたら、<今後表示しない>→<OK>をタップします。メモを書きこみ、電話が終わったら<通話を終了>をタップします。

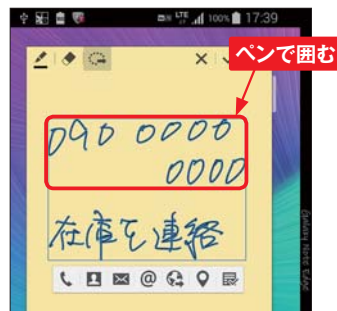


① メモを書く  
② タップする

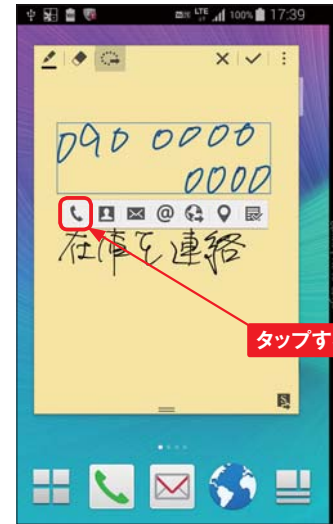
③ をタップします。



④ メモ範囲が自動的に囲まれますが、ここでは番号だけを囲みたいので、番号部分をペンで囲みます。



⑤ をタップします。



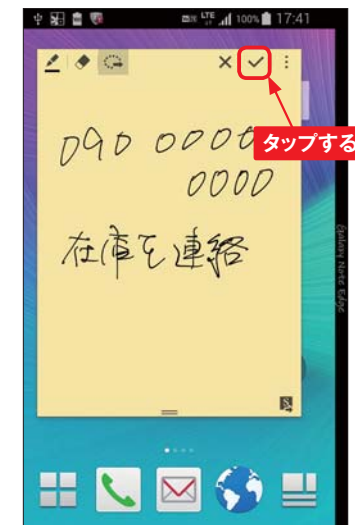
⑥ 手順④で囲んだ番号を読み込んで[電話]が起動します。他のアプリを利用中は、<アクションメモ>は最小化されています。



⑦ 電話が終わったら、<アクションメモ>をタップします。



⑧ をタップすると、書いたメモが<Sノート> (Sec.46参照) に保存され、アクションメモが閉じます。



## 保存したメモを閲覧する

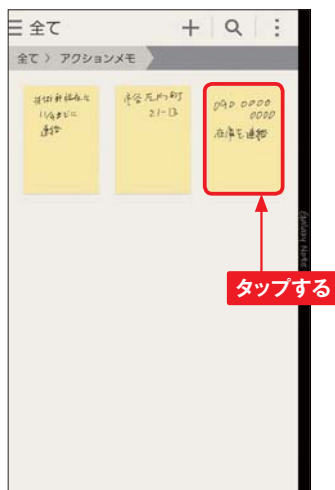
- 1 アプリ画面で<Sノート> (Sec.46参照) をタップします。



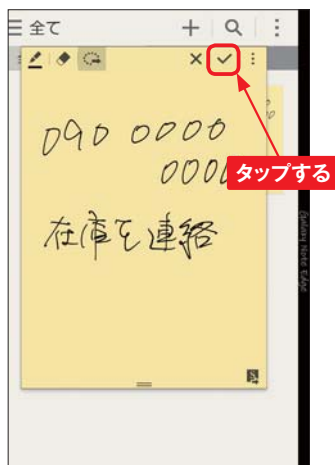
- 2 初期設定が終わってれば [最近] 画面が表示されるので、画面を右方向にスクロールして、<アクションメモ> をタップします。



- 3 保存したアクションメモが一覧で表示されます。利用したいメモをタップします。



- 4 メモが表示されます。保存されたメモでも追記や様々なアクションを行うことができます。✓をタップしてメモを閉じます。



## アクションメモからできるアクション



電話番号を囲むと、その番号を読み込んで<電話>が起動します。



囲んだ文字をGoogleで検索します。



名前や電話番号、メールアドレスを読み込んで<ドコモ電話帳>や<連絡先>が起動します。



住所を囲むと、その住所を読み込んで<マップ>や<地図アプリ>が起動し、住所の場所を表示します。



電話番号を囲むと、その番号を宛先に読み込んで<SMS>が起動します。



囲んだ文字を<Sプランナー> (Sec.48参照) のタスクに読み込みます。



メールアドレスを囲むと、そのアドレスを宛先に読み込んでメールアプリが起動します。<Eメール><ドコモメール><Gmail>などに対応しています。

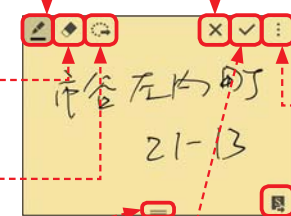
## アクションメモ画面の操作

文字の色を変更することができます。

書いたメモを消去することができます。

アクションを起動します。

ドラッグしてメモの上下の幅を変更します。



新規のメモやメモの変更を破棄してアクションメモを終了します。

メニューを表示します。新しいメモを作成するときなどはここをタップして<アクションメモを作成>をタップします。

メモを保存してアクションメモを終了します。

アクションメモを<Sノート>で開きます。元のアクションメモはそのまま保持されます。